

第 29 期（2018 年度）プロ・ナトゥーラ・ファンド助成 国内活動助成申請書

下記の通り、プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の活動助成を申し込みます。

1. タイトル

●●の森を保護区にするための、市民参加型の生物調査

日本語で、内容を簡潔に表現したものにしてください。副題は用いないでください。

2. 申請団体

団体名	●●の森保全グループ		
フリガナ	シゼン タロウ	生年 月日 [年齢]	
申請代表者 氏名	自然 太郎		
所属機関 ・役職	NPO法人●●の森学校 理事		
住所	〒 自宅か職場（または学校）の住所をお書きください。		どちらかに○をつけてください。 (自宅・職場)
電話	自宅・職場：連絡のつきやすい方の番号をお書きください。	携帯電話：	
e-mail	連絡は主にe-mailを用いますので連絡のつくアドレスをお知らせください。	URL	団体のサイトがある場合はURLをお書きください。

プロジェクトを行うグループの名前をお書きください。法人名である必要はありません。

3. 活動の種類（いずれか一つ選択してください）

- 野生動植物種や植生、動物分布、生態系、地形や水文環境などの保護活動
- 自然保護教育や環境教育の推進、自然保護思想の啓発のための活動
- 自然保護を訴えるパンフレット、書籍、映像コンテンツなどの製作
- 自然保護を訴えるシンポジウム、セミナー、イベントなどの開催
- その他

4. 活動の目的（200字程度）

本申請プロジェクトにおける、最終的なゴールを明確にお書きください。

〇〇市●●の森は、多くの貴重な生き物が生息しており、市民や研究者たちに長年親しまれてきた。しかし、周辺の開発事業が進み、●●の森の開発も時間の問題となっている。そこで、市民を巻き込んだ生物調査を行い、最終的には市民主体で●●の森を保護区とできるよう、市民の理解と関心を深める。

5. 助成申請額

100 万円

- 支出計画書の金額から千円の位を四捨五入した金額をお書きください。千円・百円単位まで書かないでください。
- 本助成プログラムでは複数の助成金を使って実施するプロジェクトには助成いたしません。

この申請書は、プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の審査にのみ使用し、その他の目的では使用いたしません。公益財団法人自然保護助成基金個人情報保護に関する基本方針のとおり、適切に取り扱いたします。

活動計画書（1）

1. 活動の意義

本活動の自然保護上の意義について、要点を100字程度で簡潔に枠内にお書きください。

市民の生物多様性保全に対する関心を高め、開発の脅威にさらされている●●の森を市民の力で保護区にできるようにする。

文字のフォントを大きくしたり、太字にしたりして、内容が一目で明確にわかるように、適宜工夫してください。

どのような活動を行うのか。また、この活動をしたことにより、自然保護の考えや実践が広がるか、どのように地域の公益に貢献できるのか、具体的にお書きください。

●●の森の魅力をより多くの市民に知ってもらうため、まずはフィールド・ワークショップを行う。
内容は・・・である。これにより・・・といった効果が得られる。・・・
生物調査では、・・・について重点的に調査する。・・・
調査の結果は・・・に役立てる。

活動場所の地図

※注意※

- フォントサイズは10ポイント以上でお書きください。
- 枠の位置の変更はしないでください。また、ページ数を増やすことはできません。
- 写真や図の挿入は可能ですが、モノクロ印刷で審査に付されるため、モノクロでも見分けの付く範囲内をお願いします。

活動計画書（2）

2. 活動計画

1) 本活動における具体的な到達目標をお書きください。

- ①2018年11月にフィールド・ワークショップを行う。目標参加人数は100人。
- ②2018年12月に第1回調査を行い、***と***を行う。
- ③2019年2月に第2回調査を行い、***と***を行う。
- ④…

いつまでに何を達成するのか、具体的にお書きください。

2) どのように上記の目標をクリアしていくのか、活動手法をご説明ください。

- ①チラシを作成して、地域住民に配布する。
- ②◆◆を用いて***を行う。◆◆は△△大学から借用する予定。

3) 予算計画について、特記すべき点があれば、お書きください。一つの費目への比重が大きい場合などは、説明してください。

調査に使用する機材の購入費および借用費の比重が高い

4) プロジェクトメンバーについて特記すべき点があれば、お書きください。

構成メンバーには、●●の森で長年環境教育活動を行ってきた地域NPOのスタッフと、●●の森の生物多様性に詳しい専門家が含まれており、経験と専門性を生かした調査活動ができると考えられる。

- 字数制限はありませんので、ページ内で回答スペースを調整してください。
- 3) と4) の設問については、特記すべき事項がなければ空欄で結構です。
- ただし、ページ数は増やさないでください。

3. 申請グループとしての活動目標と、今後の活動展開

本申請グループは、自然保護のためにどのような目標をもって活動しているのか、100字程度で簡潔にお書きください。

●●の森を開発から守り、後世まで残していくことを目標に、
環境教育を中心とした普及啓発活動を行っている。

こちらも、フォントや文字の大きさを工夫して、見やすくなるようにしてください。

本プロジェクトを申請するに至った経緯をお書きください。本プロジェクトにつながるこれまでの活動実績があれば、その詳細をお書きください。また、このプロジェクトを終えた後にどのように活動を展開させていくのかについてお書きください。

申請代表者が立ち上げたNPO法人●●の森学校は、●●の森において子供向けの環境教育活動プログラムを行っている。これまで・・・や・・・といった活動を行ってきた。

しかし、近年●●の森の周辺の開発事業が進み、●●の森も開発の危機にさらされるようになったため、大人も含め市民全体を巻き込んだ自然保護教育活動があると考えた。

そこで、市民参加の生物調査を行い、●●の森を将来的に市民主体で保護区として保全していくことができるよう、本プロジェクトを立ち上げた。・・・

本プロジェクト終了後は、市民が率先して保全活動に参加できるようサポートを行いつつ、調査を継続する・・・

年間スケジュール

時期	内容とその詳細	助成金 支出概算
18年10月	フィールド・ワークショップの広報チラシ作り	印刷費 20,000円
11月	フィールド・ワークショップの開催	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 支出費目と金額をお書きください。 </div>
12月	第1回調査 (x日間) ・調査に使用する**を購入 ・***と***を行う。	
19年 1月		
2月	第2回調査 (x日間) ・***と***の調査を行う	賃金・謝金 40,000円
3月	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 月をまたいで調査や分析の作業を行う場合は、↑↓でお示しください。 行の高さは変更して構いません。ページ数は増やさないでください。 </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 中間報告書の提出 </div>		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
11月～12月	助成成果発表会	成果発表会出席経費 往復 30,000円

支出概算の合計が申請金額と同じになるようにしてください。自己負担金は含めないでください。

グループの構成員

氏名	所属	役職	分担*
自然 太郎	NPO法人●●の森学校	理事	責任者（申請者）
●● ●●	NPO法人●●の森学校	事務員	副責任者
●● ●●	森大学森林科学部	学生	会計責任者

申請者がその任を負えなくなったときに、このプロジェクト遂行の責任を負っていただける方を副責任者としてください。

大学研究グループによる活動で、大学に所属する研究者が申請代表者となる場合、大学事務員を会計責任者とすることができます。ただし、申請グループの一員という扱いになるため、一般管理費（オーバーヘッド）の支出は認められません。

*プロジェクトの上で担当する役割を記入。（責任者、副責任者、会計責任者を必ず決めてください。）

これまでの活動実績

本申請に関連する活動についてまとめた書籍やパンフレットの出版、イベントの開催記録などがあればお書きください。

- a) 様式（論文の場合）：著者（発表年）．論文タイトル．雑誌名，巻（号）：初めのページ数-終りのページ数。
様式（書籍の場合）：著者（出版年）．タイトル．出版社．ページ数。
- b) 自然太郎（2017）．●●の森に生息する絶滅危惧種XXXに関する研究．+++研究誌1(2):100-110
- c) 2016年x月x日 「こども自然観察ワークショップ」開催（主催：NPO法人●●の森学校）

本申請の内容に関連するものに限り、申請団体あるいはグループメンバー個人による実績をお書きください。

助成金取得状況

1. 現在、同様のテーマで他財団や公的機関の助成金を申請していますか。

機関名	テーマ	金額(万円)

2. 現在、第29期プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の別の申請に、構成メンバーとして申請していますか。

カテゴリー名	タイトル

申請代表者は、他の申請プロジェクトにおいて申請代表者になることはできません。また、本申請グループが別のテーマで複数応募することもご遠慮ください。

アンケート

(アンケートの記述のない申請書は受け付けません。記述内容は選考に影響しません。)

I 申請者の本助成への応募は何回目ですか。

初めて ・ 2回目 ・ 3回目 ・ 4回目以上

II 過去に、申請者は本助成の助成金を得たことはありますか。ある場合は回数をお書き下さい。

ない ・ 1回 ・ 2回 ・ 3回 ・ 4回以上

III 今回の助成の詳細は、何で知りましたか。

当財団のWebページ/Facebook ・ 助成金情報サイト ・ メールングリスト

チラシ ・ 友人/知人から ・ その他 ()

IV 募集要項について、気になった点、わかりにくかった点があればお書き下さい。また、申請書で書きにくかった項目があればお書きください。

V 本助成に関するご意見・ご要望があれば、お書きください。

VI 本助成で、今後新たに取り組むと良いと思われる自然保護の課題があれば、お書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

チェックリスト

- 記入漏れ、記入ミスはありませんか？
- ページ数はアンケートを含め7ページに収まっていますか？
- アンケートは記入しましたか？
- 支出計画書は記入しましたか？

支出計画書(1)

プロジェクト名:

助成申請額

1000000円

自動的に算出されますので記入しないでください。
申請書の申請金額と相違がないようご確認ください。

団体:

代表者:

会計責任者:

支出計画

(別紙「助成金費目一覧表」を参照)

費目	内訳	単価	数量	小計
a. 器具・備品費	自動撮影カメラ	¥50,000	10	¥500,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥500,000
b. 消耗品費	観察用ノート	¥300	10	¥3,000
	筆記用具(色鉛筆, マジックペン, ...)	¥1,000	10	¥10,000
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥13,000
c. 委託費				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥0
d. 賃金・謝金	調査指導スタッフアルバイト料	¥8,000	10	¥80,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥80,000
e. 旅費	レンタカー代(ガソリン代含む)	¥20,000	5	¥100,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥100,000
f. 交通・通信・運搬費	メンバーの交通費	¥1,000	20	¥20,000
	チラシの送料	¥500	20	¥10,000
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥30,000

※記入欄が足りない場合は、行を追加して、不要な行を削除して記入して下さい。

支出計画書(2)

費 目	内 容	単 価	数 量	金 額(円)
g.図書・資料費	図鑑	¥17,000	1	¥17,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥17,000
h.印刷費	チラシの印刷費(10部で1000円)	¥1,000	100	¥100,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥100,000
i.会議費	会議室借用費	¥10,000	3	¥30,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥30,000
j.借用費	調査機材借用費	¥10,000	10	¥100,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥100,000
k.雑経費				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥0
l.助成成果発表会出席 経費	大阪⇄東京(往復)	¥30,000	1	¥30,000
				¥0
				¥0
(合計)				¥30,000
助成申請額合計				¥1,000,000

助成成果発表会には必ずご出席ください。そのための旅費は必ずこちらに計上してください。なお、発表者1名分のみ計上してください。